

要 望 書

所沢市基地対策協議会

令和4年11月30日

北関東防衛局
局長 扇谷 治 様

所沢市基地対策協議会

会長 内田 勉



米軍所沢通信基地の返還について

向寒の候 貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本協議会の活動につきまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たち所沢市基地対策協議会は、「基地全面返還は市民の願い」をスローガンに50余年、米軍所沢通信基地（以下、「基地」）の返還を要望してまいりました。

その結果、これまでに約7割の基地が返還され、市の発展に大きく寄与したところであります。これも、貴局におけるご尽力の賜物であり、改めて御礼申し上げます。

しかしながら、広大な基地の存在は、いまだ市民生活に大きな影響を与え続けています。

平成30年度には、オスプレイが突然基地に飛来し、多くの市民に不安と動揺を与えました。令和元年度には、横田飛行場の外周道路切替工事で発生した土砂が、私たちの再三の中止要請にもかかわらず所沢の基地に搬入され、現在も基地南西部に大量に堆積しています。

米軍機の基地への飛来は、東西連絡道路が開通して、その間近を市民が行き交うようになった今も継続されています。

市域中央部に所在する約97万㎡もの広大な基地は、街づくりを進める上で大きな障害となるばかりでなく、市民の安全安心を常におびやかすことから、一刻も早い全面返還を、改めて要望いたします。

また、全面返還が早期に実現できない場合には、下記のとおり部分返還を要望いたします。

貴職におかれましては、少しでも早く所沢市民の願いが実現するよう、米軍に対しまして、速やかに市への返還を要請いただきますようお願い申し上げます。

記

1 基地南側（東西連絡道路の南側全体）の返還

基地南側には、昭和 54 年から日米共同使用スポーツ広場用地として解放を求めてきた区域と、令和元年以降返還を求めている横田飛行場の土砂が搬入された区域があります。また、航空機が離発着できるヘリパッドもあります。

こうしたことから、これらの区域を包含する基地南側の返還を要望します。

2 文教通り線拡幅用地の返還

基地西側に沿って整備されている幅員 16 メートルの道路は、交通安全対策の上からも、当初計画である 32 メートルに拡幅する必要があるため昭和 51 年から返還を要望しており、今後も返還を要望するものです。

以上